



澤畑義照議員

●中学校における
今後の部活動のあり方について
●教職員の交通安全の具体的な対策について

問

質問

部活動は生徒にとって意義のある大切な教育の場であり、楽しみにしている活動の時間である。近年土曜日・日曜日もなく部活動が実施されている。時には家中そろって三粒の教育（体験学習）など家族とのふれ合いも人間教育の視点で大切な事と思う。この様な観点からも今後の部活動のあり方と今後の課題について伺う。

教育長 運動部の場合長い時間をかけての練習、レギュラーを目指す、対外試合での勝負を目指し自分の事のみでなく友達との間においても、さまざまな葛藤が起ります。生徒の心の中に占める部活動の意味は大きく、心身の成長を促進する生体体験は大きいと思われまふ。本町の部活動の状況であります。中では9部、本中では5部、授業終了後から下校時まで、土、日祭

日のうち部が選択する活動となっており土・日における練習を軽減する事を申し合わせております。土・日の練習日は大半が年間60日以下となっており。部活動の運営についてはさまざまな問題を抱えています。教員の土曜日の指導、授業外の仕事となり、オーバーワークとなりやすく教科指導にも負担がかかります。今後の課題として新学習指導要領の中にも部活動の教育的意義を正しく理解し単に勝敗や技術に偏った指導にならないことや生徒の体力・健康の保持増進に留意し、適度な休息を設け、科学的・計画的・合理的な練習に心がけること、生徒自身から課題を見つけ、みずから学び、みずから主体的に取り組みます。また今後は活動の時間、

質問

運営の仕方なども考えていくことが必要と強く感じております。

質問 本県では交通事故が多発している。川根地方への交通量も増加している現状の中、学校職員に対して交通安全対策を具体的にどのように講じているか伺う。

教育長

学校現場ではありとあらゆる機会に交通事故を含めた不祥事根絶のために努めております。県教委・教育事務所からの通知、着任式や教育会総会の中で交通事故根絶を呼びかけたり、毎月の校長会で指導したりしております。各校の校長は次年度の構想の中に



部活動風景

質問



部活動風景

わいせつ・交通事故・体罰・情報管理など盛りこみ、朝の打ち合わせを通して勤務・服務に関する指導を実施しております。また一方的な指導でなく教員との対話も重視しています。一年間を三期に分けて、教職員の事故・事犯・交通事故の発生状況調査を実施し、事故に対する意識の強化を図っております。教職員の評価制度試行で校長は全教員と30程度の面談を実施しています。これらの取り組みを通して交通事故を減らすこと、高いよう教職員の自覚を高め、指導の強化を図っていきます。

答

- 部活動を充実させていくために活動のあり方を考えていく必要がある
- 事故発生状況調査を実施し、意識の強化を図る